

大连理工大学2006年度教学改革基金课题重点项目

新 综 合 日 本 语

基础日语

大连理工大学外国语学院日语系 组织编写

总主编：李筱平

主 编：孙莲花

副主编：李 捷 吴世兰

第③册

◎ 大连理工大学出版社

大连理工大学2006年度教学改革基金课题重点项目

新 综 合 日 本 语

基础日语

第3册

大连理工大学外国语学院日语系 组织编写

总主编：李筱平

主 编：孙莲花

副主编：李 捷 吴世兰

编 者：孔 月 孙莲花 李 捷 李筱平
吴世兰 王 冲 王玉明 王 健 孙成志





图书在版编目(CIP)数据

基础日语. 第3册 / 孙莲花主编. —大连: 大连理工大学出版社, 2010. 2

(新综合日本语)

ISBN 978-7-5611-5369-7

I. ①基… II. ①孙… III. ①日语—高等学校—教材
IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 018214 号

大连理工大学出版社

基础日语

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84703636

E-mail:dutp@dutp.cn URL:http://www.dutp.cn

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm×260mm

印张:20.5

字数:469 千字

附件:光盘 1 张

印数:1~3000

2010 年 2 月第 1 版

2010 年 2 月第 1 次印刷

责任编辑:宋锦绣

责任校对:姜慧颖

封面设计:李 雷

ISBN 978-7-5611-5369-7

定 价:37.00 元

前言

随着国际化社会的到来和经济全球化的不断深入,中日两国间相互交流的领域空前扩大,交流的频度史无前例。在这一大背景下,社会对日语专业人才的需求也发生了新的变化。由于中日两国人员经贸和科技面对面交流机会的增多,社会急需既具备日语专业的语言能力,又具有用日语理解文理科技内容的能力,还要具备跨文化交际能力的高水平日语专业应用型人才。

为适应社会的新需求,20世纪末,以培养复合型日语专业人才为目的,在全国理工科院校也陆续开设日语专业课程。与此同时,相应的日语专业教材也如雨后春笋般不断面世。然而,当我们全面考察了这些教材后发现,日语专业基础课教材仍突出体现着纯文科专业教材的特点,以培养传统的研究型日语人才为目的。真正将文理知识有效地融合,并且能够充分体现以培养复合型跨文化交际的日语人才为目的的日语专业配套教材尚不多见。这难以满足当今社会对日语人才多元化的需求。

本套日语专业配套教材就是为了填补这一空白,在经过了大量的社会调研和考察后,应社会对日语人才的新需求而编写的。

本教材的最大特点是把日语文理知识进行有效的融会贯通,特别注重沟通和交流中各种场面的设定,体现以学生为主体、师生互动的教学理念。注重在实践中求领会,以实践促理解。立足于培养复合型高水平的日语跨文化交际型人才。

本套教材是大连理工大学2006年度教改基金重点项目。为了保证书稿的质量，大连理工大学外国语学院日语系具有多年教学经验的教学第一线的老师们承担了教材编写的全部任务，在编撰过程中，对包括《新综合日本语基础日语》、《新综合日本语听解日语》、《新综合日本语会话日语》在内的日语专业全套教材进行了反复研讨和修改，并且负责编撰、审定、译配及出版。日本专家、学者承担了主要校正编写任务。

本套教材经过反复推敲编辑而成，尽管如此，仍然有一些需要改善的地方，恳请各位不吝赐教，谨向您致以诚挚的谢意！

李筱平

2008年9月

目 录

前言	iii
目录	v

第 1 課

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. ～とのことだ | 2. ～込む |
| 3. それにしても | 4. ～抜く |
| 5. ～とは～ | 6. ～と同じように／ような |
| 7. ～出す | 8. なんだか |
| 9. ～にかかわる | 10. ～ということではないだろうか |
| 11. 一体 | |

なぜ「辞書」は
「ひく」の
でしょう

1

第 2 課

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. ～ところ (を) | 2. ～による／によって／により |
| 3. ～に対して／に対する | 4. ～ばかりでなく、～も |
| 5. ～において／における | 6. ～に基づいて／に基づく |
| 7. ～次第 | |

民芸について

19

第 3 課

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ～とする | 2. ～たことになる |
| 3. ～ことから | 4. ～上で |
| 5. 決して～ない | 6. ～ばかりか |
| 7. どれだけ～か | |

暮らしと貿易

39

第 4 課

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. ～に関して | 2. ～に際して |
| 3. ～を～とする | 4. ～に過ぎない |
| 5. 上 (じょう) | 6. ～といった～ |
| 7. ～にかかわりなく／にかかわらず | |

留学生が見た
日本

54

第5課

- | | |
|-----------|---------|
| 1. ～ずつ | 2. はたして |
| 3. ～たびに | 4. かい |
| 5. な | 6. ものだ |
| 7. ～ぬ／ん | 8. いかにも |
| 9. ～も～ば～も | 10. ～すら |
| 11. ～ばかり | 12. する |

野ばら

70

第6課

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. ～げ | 2. ～てはいられない／ではいけない |
| 3. ～ぐらい／くらい | 4. ～まい |
| 5. ～だって | 6. ところへ |
| 7. ～なんか | 8. ～をきっかけに (して) |
| 9. ～かたわら | |

野口英世

86

第7課

- | | |
|------------|------------|
| 1. ～つもりで、～ | 2. ～ていると、～ |
| 3. 一方、～ | 4. ～越しに、～ |
| 5. ～ほど | 6. ～ように見える |
| 7. ～向き | 8. 真～ |
| 9. いかにか | 10. ～最中に～ |

ミツバチの
ダンス

101

第8課

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1. ～って | 2. ～だけに～ |
| 3. いっさい～ない | 4. ～にもかかわらず～ |
| 5. ～とすると、～ | 6. どうやら～そうだ／らしい／よう
だ／みたいだ |
| 7. ～なりに／なりの～ | 8. ～こそ |
| 9. ～のでは～ | |

そうですねえ、
北京です

118

第9課

- | | |
|-------------|------------|
| 1. さ | 2. ～となると、～ |
| 3. ～のに | 4. ～ほど |
| 5. ～あたり | 6. ～という |
| 7. 同時に | 8. ～につれて～ |
| 9. ～限り／ない限り | 10. ということ |
| 11. ～ねばならない | |

科学の
疑問・珍問

134

第10課

1. ～というと
3. ～ぐらい／くらい
5. ～かという／かといえ
7. ～とすれば

2. ～からという
4. まで
6. 何も
8. ～としても

墓から見た
古代の日本

150

第11課

1. ～ば
3. ～たら～た
5. こそ
7. ～なんて
9. ～たところ

2. ～まし
4. ～やしないか
6. ～べき
8. ～に限らず
10. ～ばかり

桜の花は
罪つくり

165

第12課

1. ～を踏まえて
3. ～つつある
5. ～ならびに
7. ～にわたる

2. ～にしても
4. ～わけにはいかない
6. ～ごとに

建築と生活——
住むことつくるこ
と

180

第13課

1. ～によれば
3. ～にとどまる
5. ～うに
7. ～ても仕方がない／でも仕方がない
9. ～ぐるみ
2. ここ
4. いわば
6. ～に限る
8. ～に至っては
10. ～なしに（は）

地球人の世紀へ

193

第14課

1. なんとなく
3. さて
5. ～によっては
7. ～かのよう
9. ～から見ると
11. ～がために
2. ～はおろか
4. ～とされている
6. あたかも
8. さほど
10. ～からすると

曖昧な日本人

208

第15課

1. ～際 (に)
2. ～ことに
3. なんと～のだろう
4. ～にいたるまで
5. なんら
6. なにしる
7. ～といっても
8. すると
9. もはや

アキバ製の頭脳

225

附 录

一、参考译文	241
二、练习参考答案	260
三、语法索引	285
四、单词索引	288
五、参考文献	317

なぜ「辞書」は「ひく」なのでしょう

読む前に

1. 「ひく」を使う連語をいくつか知っていますか。
2. 今まで習った「ひく」は何の意味ですか。
3. 「かける」を使う連語をいくつか知っていますか。
4. 今まで習った「かける」は何の意味ですか。

本文

1. 辞書をひく

「辞書をひく」と言います。どうして辞書は「ひく＝引く」ものなのでしょう。

レッカー車で移動させられる故障車とか、綱引きの綱などであれば「ひく」ものであるということはよく分かります。しかし、「辞書をひく」と言っても、辞書にひもを付けて引っばって行く、というようなことはありません。

「ひく」ことのできるものには、どういうものがあるのでしょうか。例えば、「弓をひく」と言います。弓で矢を射るときには、両足をふんばって弓を構え、弓の弦を自分の方へ引きよせるような動きをします。ですから、「綱引き」の場合と似ていて、どうして「ひく」というのか、よく分かる気がします。（そして注意して見ますと、漢字の「引」の中には「弓」という字が入っています。その隣の「丨」は弓を引く手の動きを表しているとのこと。）

楽器を鳴らすことと関連しても「ひく」という言葉がときどき出てきます。「バイオリンをひく」という場合は、自分の方にバイオリンの「弓」を引きよせるような手の動きがありますから、「ひく」というのはよく分かります。しかし、「ピアノをひく」という場合になると、もうそのような手の動きはありません。でも、古くから「琴をひく」という言い方もあります。たぶん、もともと弓のつるを指ではじくというしぐさと関係しているのでしょう。（このような場合は、漢字では「弾く」と書くことがあります。この漢字は、指などで「はじく」という意味です。）

「注意をひく」というのは、どうでしょう。これはそんなに難しくないと思います。相手の注意に綱でもかけて、引っばっている様子が目に浮かびます。「風邪をひく」はどうでしょう。少し分かりにくいですね。でも「田に水をひく」と言いますから、ちょうど田に水を引き込むように「風邪」を外から体の中に引き込むということなのでしょう。それにしても、いつごろから、どのようにして、このような言い方をするよう

になったのか、考えてみるとほんとうに不思議です。

「ひく」という言葉の使われるいろいろな場合を考えてみましたが、最初に挙げた「辞書をひく」はどうでしょうか。まだ分かりにくいですね。答えは次のようになるようです。「くじをひく」という言い方を知っていますね。今では「くじをひく」といっても、いろいろなやり方がありますが、もともとは、こより（紙を細くよじったもの）や小さい棒などに、当たり外れを記したものを細い木箱などに入れておいて、そこから一本引き抜かせたものです。そういうやり方はもうあまりされなくなっても「くじびき」とか「くじをひく」という言い方は、相変わらずそのまま残っています。ところで、ある一本のくじを「ひく」ということは、何本かあるくじの中から一本を「選ぶ」ということです。

これで「辞書をひく」というわけが、だいぶ分かってきたのではないのでしょうか。だれでも知っているとおりの、「辞書」のことは「字引」とも言いますね。「字引」とは、「字」をそれでよいかどうかよく調べて「選び出す」ものです。「くじをひく」のと同じように、「言葉」を選び出すもの—それが「字引」です。「辞書をひく」という言い方には、そのような「ひく」の意味が残っているわけです。

2. 帽子をかける

少し考えれば「引く」のほかにも、似たような例を見出すことができます。例えば、「かける」という言葉は、どうでしょうか。「帽子をかける」「腰をかける」「かぎをかける」「橋をかける」「ふとんをかける」など…。人に「迷惑をかける」のは、人に「水をかける」ようなものであることは分かります。私たちは、人に「心配をかけ」たり、「疑いをかけ」たりします。なんだか相手にとって都合のよくないことのほうが多いようです。

「麻醉をかける」とか「保険をかける」という言い方も、相手にかかわるようなことをするという意味で考えれば、分かるような気がするでしょう。「電話をかける」というのも、電話を通して、相手と接触することだったのでしょうか。「（人に）声をかける」などと言ったりもします。「（あるものを）お目にかける」というような言い方も、きっとこれに似ているに違いありません。「お目」というのが相手の目の届く範囲、そこにあるものを持ち込むという気持ちなのでしょう。「お目にかかる」とは、自分自身でそういう所に赴くということなのでしょう。文字通りにとると、おかしい表現です。日本語を習っている外国の人たちは、よく「目にぶら下がられたら重くて困るじゃないの」などと言って、この言い方をおもしろがります。

「眼鏡をかける」という言い方もありますね。眼鏡を鼻や耳に渡して支えるということなのでしょう。（「橋をかける」などという言い方を思い出します。）自慢することを「鼻にかける」などと言いますが、なんだか鼻から「自慢」と書いた札がぶら下がっているような感じです。

それでは最後に、「ラジオをかける」「ミシンをかける」というのは、どうでしょ

うか。これは難しいですね。ラジオやミシンは、ふつう、ぶら下げたり、ひっかけたりするものではありません。ほかの似た表現を探してみましょう。「アイロンをかける」と言います。「かんなをかける」という言い方もありますね。「アイロンをかける」—「かんなをかける」—「ラジオをかける」—何か共通しているところはありませんか。どれも、〈道具や機械を働かせる〉ということではないのでしょうか。「ミシンをかける」もそうです。もっと他に例はないのでしょうか。「(自動車の) エンジンをはかる」などとも言いますね。これで、どうして「ミシンをはかる」というのが分かりました。でも、一体、誰がこのような言い方をし始め、いつの間に皆がそのような言い方をするようになってしまったのでしょうか。本当に不思議です。(略)

(池上嘉彦『日本語中級Ⅱ』国際交流基金)

注:

1. 「|」: 漢字の字母。正式には「コン」と読む。普通は「たてぼう」などということが多い。

新出単語 ①

れんご① [連語]	【名】	词组, 习惯短语
レッカーしゃ③ [レッカー車]	【名】	救险车, 牵引车
いどう① [移動]	【名・自他サ】	移动, 转移
こしょうしゃ② [故障車]	【名】	故障车
つなひき②④ [綱引き]	【名】	拔河
つな② [綱]	【名】	粗绳, 绳索; 命脉, 依靠
ひっぱる③ [引っ張る]	【他五】	拉, 拽, 扯; 强拉走
ゆみ② [弓]	【名】	弓, 弓箭
や① [矢]	【名】	箭
いる① [射る]	【他上一】	射, 射箭
りょうあし① [両足]	【名】	两只腿; 两只脚
ふんばる③ [踏ん張る]	【自五】	叉开双脚使劲站住; 坚持, 加油
かまえる③ [構える]	【他下一】	采取某种姿势, 摆出姿态; 修建; 准备好
つる②① [弦]	【名】	弓弦
ひきよせる④ [引き寄せる]	【他下一】	拉到近旁; 吸引
うごき③ [動き]	【名】	活动; 变化, 动向, 动态
あらわす③ [表す]	【他五】	表示, 表现, 表达; 代表, 意味着
たてぼう① [・縦棒]	【名】	竖线
がっき① [楽器]	【名】	乐器
かんれん① [関連]	【名・自サ】	关联, 联系, 有关系

もともと⑩ [元々]	【名・副】	本来, 原来, 根本; 同原来一样
ゆび② [指]	【名】	指, 手指, 脚趾
しぐさ①⑩	【名】	动作, 举止
た① [田]	【名】	田, 稻田, 水田
ひきこむ③ [引き込む]	【他五】	引进来, 拉进来; 拉拢, 引诱进来
〜こむ [〜込む]	【接尾】	……进来; 彻底……, 深入地……
それにしても⑤	【接】	即使那样, 话虽如此
いつごろ⑩ (何時頃)	【名】	何时, 什么时候
あげる⑩ [挙げる]	【他下一】	举例, 列举; 举行; 全
くじ① (籤)	【名】	签, 阄儿; 抽签, 抓阄儿
こより⑩③ (紙縊)	【名】	纸捻
よじる② (捩る)	【他五】	捻, 扭, 拧
ぼう⑩ [棒]	【名】	棒子, 棍子
あたりはずれ⑩④ [当たり外れ]	【名】	中与不中, 成功与失败; 好坏
きする② [記する]	【他サ】	写下来, 记下来; 铭记
きばこ① [木箱]	【名】	木箱
ひきぬく③ [引き抜く]	【他五】	拔出, 抽出; 挑选, 选拔
〜ぬく [〜抜く]	【接尾】	……出来; ……到底; 极其……
くじびき⑩④ [くじ引き]	【名・自サ】	抽签, 抓阄儿
わけ① [訳]	【名】	原因, 理由; 意义, 意思
じびき③ [字引]	【名】	字典, 词典, 辞典, 辞书
えらびだす④⑩ [選び出す]	【他五】	选出, 挑选出来
〜だす [〜出す]	【接尾】	开始……, ……起来; ……出来
みいだす③⑩ [見出す]	【他五】	找到, 找出来, 看出来, 发现
こし⑩ [腰]	【名】	腰; 腰部, 腰身
うたがい⑩ [疑い]	【名】	疑问, 怀疑; 嫌疑, 猜疑
なんだか① [何だか]	【副】	总觉得, 总有点儿, 不由得
ますい⑩ [麻醉]	【名】	麻醉
ほけん⑩ [保険]	【名】	保险
せっしょく⑩ [接触]	【名・自サ】	接触; 交往, 来往
おめにかける⑩+② [お目にかける]	【連】	给人看 (「見せる」的自谦语)
にる⑩ [似る]	【自上一】	像, 似, 相似
はんい① [範圍]	【名】	范围
もちこむ⑩③ [持ち込む]	【他五】	带入, 拿进; 提出

じぶんじしん④ [自分自身]	【名】	自己
おもむく③ [赴く]	【自五】	赴, 前往; 趋向, 倾向
もじ① [文字]	【名】	文字
おかしな②	【連体】	可笑, 滑稽; 奇怪, 可疑; 不妥当
ぶらさがる⑩ [ぶら下がる]	【自五】	吊垂, 悬, 牵拉
ささえる⑩③ [支える]	【他下一】	支, 支撑; 扶; 维持
じまん⑩ [自慢]	【名・自サ】	自夸, 自大, 骄傲
ミシン①	【名】	缝纫机
ひっかける④ [引っ掛ける]	【他下一】	挂上, 披上; 溅(上), 吐(唾沫)
アイロン①	【名】	熨斗, 烙铁
かんな③ (鉋)	【名】	刨子
きょうつう⑩ [共通]	【名・形動・自サ】	共同
どうぐ③ [道具]	【名】	工具; 家庭生活用具
いったい⑩ [一体]	【副】	到底, 究竟
いつのまに⑩ [いつの間に]	【副】	不知不觉, 不知什么时候
じぼ① [字母]	【名】	字母
コン①	【名】	竖线
たてぼう⑩ [・縦棒]	【名】	竖线

重要表現

1. 用言[常体]+とのことだ

用于述说从别人那里听到的事情。译为“据说”“听说”。句尾的「だ」有时可以被省略。该句型可以使用过去式「～とのことだった/でした」,但是句尾不能使用否定形。

- そちらは寒い日が続いているとのことですが、皆様お変わりありませんか。/听说你们那里寒冷的日子一直持续着,大家都还好吗?
- 無事大学に合格なされたとのこと、まことにおめでとうございます。/听说你顺利考上大学了,真是恭喜你啊。
- 母の手紙では、父の病気は大したことはないとのことなので、安心した。/据母亲来信所说父亲的病无关大碍,我就放心了。
- みなさんによろしくとのことでした。/他说向大家问好。
- あの二人も、長かった婚約に終止符を打ち、6月に挙式するとのこと。/据说那两个人也将结束漫长的婚约生活,于6月举行婚礼。

2. 動[連用形①]+込む

接尾词。

(1) 表示某一事物或人进入某一空间之中。译为“……进”“……进去”。

- シャツなどは全部小さなかばんの中に押し込みました。/衬衫等全都塞进小包里了。
- 人の部屋には勝手に入り込まないでください。/请不要随便进别人的屋里。
- こんなたくさんのデータを打ち込むにはかなり時間がかかりそうだね。/要输入这么多的数据好像要花很长时间。
- 書き込む/写入
- 詰め込む/塞入
- 吹き込む/刮进；注入；灌唱片，录音
- 流れ込む/流入
- 飛び込む/跳入；突然闯进

(2) 表示完全变成那个样子，或长时间地、彻底地进行该动作。译为“彻底……”“深入地……”。

- 友達と話し込んでいたら、いつのまにか朝になっていた。/和朋友谈话忘记了时间，不知不觉就到了第二天早上。
- 部屋の片隅に座り込んで、じっと考え事をしている。/他坐在房间的角落里，一动不动地在想心事。
- 病気で一週間も寝込んでしまった。/因病躺了一周。
- うちの犬に芸を教え込もうと毎日やっていますが、なかなか覚えてくれません。/我想要教给我家的狗一些技艺，每天都教，可是它怎么也记不住。
- 考え込む/深思
- 黙り込む/默不作声
- 信じ込む/深信不疑
- ほれ込む/看中；恋上

3. それにしても

表示“即使考虑到这一因素也……”的意思。用于姑且承认前述情况，但继续说出与之相反事态の場合。译为“可那也……”“可是……”。

- この問題はとても難しかったが、それにしても正解者が少なかった。/这个问题虽然很难，可是做对的人也太少了。
- あの家は海が見えるから安くはないだろうと思っていたが、それにしても値段が高すぎる。/我是想过那个房子能看见海，不会便宜，可是也太贵了。
- アメリカの携帯電話の普及率は日本ほど高くないのだが、それにしても使っている人が少ない。/虽然美国的手机普及率没有日本高，可是使用者也太少了。

○ A: 予選ではあんなに強かったのに、どうして決勝で負けたんでしょうね。/预赛时那么强，怎么在决赛时候就输了呢。

B: プレッシャーでしょう。/是精神上有点压力了吧。

A: それにしてもひどい負け方ですね。/可那也输得太惨了点儿。

4. 動[連用形①]+抜く

「抜く」作为动词本身的意思是“抽出”“拔掉”；“选出”“抽出”；“除掉”“清除”；“省略”；“超过”。作为接尾词的用法如下：

(1) 表示把所必须的行为、过程做完的意思。经受着痛苦而完成的意思较强。译为“……到底”“一直……”。

○ 苦しかったが、最後まで走り抜いた。/虽然很痛苦，但还是坚持跑完了全程。

○ 考え抜いた結果の決心だから、もう変らない。/因为这是我经过再三考虑下的决心，所以不会再改变了。

○ 一部に反対もあったが、自分の意見を通し抜いた。/虽然一部分人有反对意见，但我还是坚持了自己的意见。

(2) 表示彻底、极其的意思。译为“非常”“极其”。

○ ジョンさんは困り抜いて相談に来了。/约翰非常为难，来找我商量。

○ 今までずっと苦しみ抜いたから、これから少し楽をしよう。/以前一直非常苦，现在起稍微轻松轻松吧。

○ 彼は奥さんをなくして弱り抜いている。/他死了妻子，非常困窘。

(3) 与本动词用法相近且常用的有「追い抜く」、「引き抜く」、「切り抜く」等。

○ 弟は兄を追い抜いて大きくなった。/弟弟(的个子)超过了哥哥，长成了大小伙子。

○ この中からカードを1枚引き抜いてください。/请您从中抽出一张牌。

○ 紙で人形の形を切り抜く。/用纸剪纸人。

5. 名/用言[常体]+とは～

(1) 表示下定义。「～とは～ものだ」表示对某事物的本质特征进行说明。「～とは～ことだ/意味だ」是就语句的意思和内容下定义。是「～というのは」的书面语表达形式。

○ 季語とは季節を表す言葉で、俳句の中で必ず使われるものです。/“季语”就是表示季节的词语，必须在俳句中使用。

○ ホワイトデーとは、バレンタインデーのお返しに、男の人が女の人にプレゼントする日のことを言う。/所谓的“白色情人节”是指作为情人节的回礼，男人给女人送礼物的日子。

- 21世紀の日本で求められる福祉の形態とはどのようなものだろうか。/21世纪在日本寻求的福利形态是什么样的呢?

(2) 表示引用。前接对方的话或者书写下来的信息等语言表达内容,用来确定其真意或者陈述说话人对此的评价。多伴随着吃惊、感叹、生气等情感。译为“……就是……”。

- A: 佐藤さん、会社退職するそうですよ。/听说佐藤要辞职啊。
B: えっ、退職するとは、結婚するということですか。/咦,辞职就是说要结婚吗?
○ A: この話、なかったことにしてください。/这件事就请当作没有吧。
B: 「なかったことにする」とはどういうことですか。/“就当作没有”是什么意思啊?
○ (書き置きを見て)「お世話になりました」とは、もう帰ってこないということだろうか。/(看到便条)“承蒙您照顾了”,那就是说再也不回来了是吗?

(3) 表示惊讶。接触到意外的情况时的吃惊、感叹等感情。

- 人を2時間も待たせておいて「すみません」の一言もないとは全く非常識な奴だ。/让人等了2个小时,连一句“对不起”都不说,真是个缺乏常识的家伙。
○ 全員そろって授業をサボるとは呆れた学生たちだ。/全体逃课,真是些不可救药的学生。
○ 一人で5種目も優勝とは、まったく驚いた。/一个人夺得5项冠军,太让人吃惊了。

6. 名+と同じように/ような

表示与另外一个事物相同的意思。译为“和……一样……”。

- 私もみなさんと同じように、一日も早く家へ帰りたいのです。/我也和大家一样,想尽早回家,哪怕一天也好。
○ 今回は、私達にも電気自動車を買えるのか、普通の車と同じように扱えるのかを調べた。/我们也能买电动汽车吗?能像普通车一样地对待吗?这次就此做了调查。
○ 我々は他社と同じような旅行商品を提供いたしません。/我们不提供和其他公司一样的旅游商品。

7. 動[連用形①]+出す

接尾词。

(1) 表示“开始……”“……起来”的意思。

- この本は面白くて、読み出すと、やめられない。/这本书很有意思,一读起来,就放不下。
○ 急に雨が降り出したので、急いで帰った。/突然下起雨来,急忙回来了。
○ 彼女は喋り出すときりがない。/她一啰嗦起来,就没个完。